



埼玉県舞踊協会ニュース

埼玉県舞踊協会
NO.19

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：津田 郁子
埼玉県さいたま市浦和区東仲町1-16 鳥昇ビル3F
TEL：048-882-7530 FAX：048-882-7549

良い流れを

埼玉県舞踊協会会長 津田郁子

いつしか、住所に区の名が付き、さいたま市の各種国際会議場に世界からのお客さんが姿を見せるようになりました。埼玉国際創作舞踊コンクールは、隔年ではありますが、この25年来にわたり、世界からの参加者を迎えておられます。例年の、夏の全国舞踊コンクールは、さらに古く、この40年来の歴史を持ち、例年、2000人を超える参加者を迎えておられます。埼玉県舞踊協会は、さいたま市に本拠を置きましたが、県外からの会員も多く、観客も県外から多数訪れ、いわば、主催する企画や公演は、舞踊を愛するすべての人々に開放されているといえます。

欧米の舞踊団では、ダンサーの国籍も多様で、本拠地のダンサーが、半数以下の例は沢山あります。日本では、まだ、日本人ダンサー主体で、ゲストに国外からのスターダンサーを呼ぶ程度で、団員の構成が、日本人中心となっていて、これは、先進国としては、例外的な状況に思えます。

もちろん、プロ舞踊団が少ないこともあるのでしよう。また、日本舞踊などの伝統舞踊は、日本人が踊らないと落ち着かない気持ちも分かる。よい流れがいたしますが、相撲を見ると、もう国粋主義では破綻している。反面、日本におけるフラメンコ、ヒップホップ、フラダンス、ベリーダンスなど、民族の伝統に根ざしたダンスが、爆発的に人気を集めていることも事実です。

舞踊には、本来、国境がなかったようです。バレエも中近東のアラベスクの語が使われているし、フラメンコにはインド舞踊とアフリカのリズムが見られますし、ヒップホップには、インド舞踊・フラメンコ・中南米の武術が反映していますし、最近のフラダンスにはエアロビック・フラもあるようです。

大切なことは、舞踊には、「流れ」が命で、固定しない要素を絶えず求められていることだと思えます。ヨガにおいては、呼吸が重要で、東洋医学では、気の流れが阻害されると病気になるといわれます。確かに、流れを失った水は腐り、固定した制度は、人を不幸にします。

第13回埼玉国際創作舞踊コンクール

第13回埼玉国際創作舞踊コンクール*盛会

藤井 公

1982年1月に第一回を開催隔年ごとに実施、県民舞踊文化の普及発展に努力して来ましたが、また入賞者の中には舞踊界で活躍、次代の舞踊家育成にも発展し今日にいたっています。

- 一位 キヴェライエンニ 作品(フィンランド)「Red-Letter Days」
- 二位 シンジョン チョル 作品(韓国)「Evolution」
- 三位 高瀬 譜希子 作品(日本)「5時の庭」
- 特別賞 チャン ユウチャオ 作品(中国)「三人之行」
- 特別賞 江積 志織 作品(日本)
- 賞賛賞 中野 ちか子 作品
- 奨励賞 小島 崇行 作品
- 奨励賞 「夢追い」3つの影
- 奨励賞 リナマリア ヴェネガス 作品
- 奨励賞 「Urban Jungle」
- 奨励賞 原島 マヤ 作品
- 涙〜誰かに会いたく〜



尚 応募状況 国内22作品、海外28作品、計50作品。また参加国は韓国、中国、ドイツ、インドネシア、タイ、フランス、イスラエル、フィンランド、マレーシア、アメリカ、コロンビア、日本の12ヶ国

審査員(舞踊家) アキコ カンダ、折田 克子、佐多 達枝、藤井 公、松崎 すみ子、若松 美貴(舞踊評論家) うらわ まこと、木村 英二、立木 輝子、藤井 修治、山野 博大(海外審査員) 李 毓珊(中国)、朴 明淑(韓国)、Aili Rasmussen(フィンランド)

評

舞踊評論家 木村英二

国際創作コンクールも13回を迎えた。第1回の1982年から長続きしているわけで、関係各位の努力に対しては心から敬意を表したい。

過去12回で、日本が1位になったのは半分、6回。といっても、近い過去5年だけを取れば日本は1回にすぎない。今回も1位はフィンランド、2位は韓国と、上位を外国勢に占められ、3位がようやく高瀬譜希子だった。この順位通りに採点したの審査員中、私一人だけなのでくすぶった気分だが、誰の目にも日本ははや劣勢だったように思う。

協会の系列の人では、実質5位で特別賞の江積志織「青い月」がよいと思った。実際これを1位に推した評論家の方も一人いた。私は知らなかったが、東京新聞の創作部門で、03、04年と2年続けて2位に入った実績の持ち主。「人工の光が全くない月明かりだけの世界に」と、夢が香る始めるという時間が得意で、深遠とした虫の音だけが聞こえる時間が肅然と長く続いた後、夢を求めようという腹這いのまま空を見上げて終わった。動きが多少単調で損じたみたいだが、日本人なら分かる世界の素直な表現。私が昭和40年代に浦和市に引っ越してきた当時は、駅から自宅までの間、秋は虫の声の囁きだった。それが今は、樹上生活者なので都会には住みやすいはずのアオマツムシですら、気象奄々で、あまり聞かなくなりました。

評

舞踊評論家 立木輝子

隔年で開催されてきた埼玉国際創作舞踊コンクールは、今回第13回を迎えた。2005年1月29日に行われた決勝大会では、日本を含め総計9名のファイナリストが作品を競った。海外からの作品では、応募作品全28作品をビデオ審査し、国内作品は16作品から予選による審査選考が行われた結果である。うち、事情によりドイツ・イスラエルからの参加者は、棄権となり10名のところ9名の作品について公開審査が行われた。選考としては、国内の舞踊家、舞踊評論家1名と韓国、中国、フィンランドの海外から各1名、全5名の委員があった。

結果は、上位については、作品の完成度、現代のダンス表現としての魅力などから、かなり明白な選考となった。

まず、第1位に選ばれたフィンランド作品「Red-Letter Days」が群を抜いている。題名は、祝祭日を意味するようだが、舞台中央に大きなテーブルが置かれ、パーティへ集う若い男女の日常的な情景が描かれる。変哲のない設定だが、振付者を含め男性2人女性3人で展開されるソロ、デュオ、トリオなどによる構成に無駄がなく、空間の使い方もうまい。振付も動きに強度があり、コンテンポラリー・ダンスの見慣れた語彙のようでありながら、日常の所作を巧みに取り入れた動きは、はっとさせられるほど新鮮である。振付のインスピレーションは、フィンランドの新鮮な空気、音楽や照明の使い方もよく、確かな構成力による完成度の高い作品である。ソロだけで独自の世界を創ったカトリ・ソイニラダンサーの貢献も大きい。第2位に選ばれた韓国の作品「Evolution」シンジョン チョル振付は、群舞のエレキが魅力だ。豊かでおどろく、ロボットが進化し、自己中心視となるというテーマで現代文明をアイロニカルな視線で描かれている。力量のある踊り手を存分に踊

協会員催し物ご案内

- 鳥村睦美バレエ研究所第15回発表会
2005年4月17日(日) 16:00
さいたま市民会館おおみや大ホール
【お問合せ】048(641)6575 鳥村睦美
- 窪内絹子モダンバレエ研究所 生徒発表会
2005年4月24日(日) 16:30
川口リリアメンホール
【お問合せ】048(255)6447 窪内絹子
- 佐多達枝・河内昭とバレエスタジオ47回発表会
2005年4月24日(日) 17:00
なかのZERO大ホール
【お問合せ】03(3368)4388 佐多達枝
- 山路瑠美子バレエ研究所発表会
2005年4月29日(金) 16:30
芝公園メラルクホール
【お問合せ】03(3469)1468 山路瑠美
- マリエバレエ発表会&ベトナムチャリティ2005
2005年4月29日(金) 16:30
川口リリアメンホール
【お問合せ】048(222)1538 矢嶋麻理絵
- 由井カナコバレエ研究所第43回発表会
2005年5月1日(日) 16:00
さいたま市民会館おおみや大ホール
【お問合せ】048(663)1388 勇野まゆみ
- すきまモダンバレエ教室25周年第16回発表会
2005年5月8日(日) 14:30
東松山市民文化センター
【お問合せ】049(285)3198 すきま
- 第23回 大岩静江バレエスタジオ発表会
2005年5月29日(日) 16:00
川口リリアメンホール
【お問合せ】048(283)9599 大岩静江
- 中村友美上田仁美モダンバレエ教室 第32回発表会
2005年6月19日(日) 13:30
春日部市民文化センター大ホール
【お問合せ】048(734)5004 中村友美
- ポピットバレエスタジオ発表会
2005年6月19日(日) 13:30
クレアこうのす
坪倉直子
【お問合せ】048(541)5446 坪倉直子
- 山本敦子バレエスタジオ30周年記念 第14回発表会
2005年7月2日(土) 16:30
さいたま市民文化センター大ホール
【お問合せ】048(852)3517 山本敦子
- 2005佐多達枝バレエ公演
2005年7月7日(土) 19:30
9日(日) 14:30 18:30
俳優座劇場 俳優座劇場
【お問合せ】03(3368)4388 佐多達枝
- 第5回伊藤京子バレエスタジオ定期発表会
2005年7月18日(祝) 17:00
和光市民文化センターサンアゼリア大ホール
【お問合せ】049(233)6244 伊藤京子
- 育珍バレエスタジオ「下町」発表会
2005年9月11日(日) 18:00
熊谷市民文化創造館 さくらめいと
【お問合せ】048(697)5445 文雄ハルヒ
- アキコカサノモダンバレエ公演後援会発表会
2005年9月16日(土) 19:00
9月17日(日) 15:00
青山円形劇場
【お問合せ】048(645)6551 青木あきこ
- 日本バレエ協会関東支部第18回ハロウィンコンサート
2005年9月18日(日) 15:00
さいたま市民会館おおみや大ホール
【お問合せ】048(663)7673 埼玉バレエ協会

第13回埼玉国際創作舞踊コンクール披露公演
伸びゆく埼玉の子供たちによるバレエ
「彩の国・飛翔」 藤井利子



山本教子バレエスタジオ

理事会で、藤井前会長から提案のあった「フェスティバル」参加作品の中から子供作品をお願ひして「彩の国」という意味が採択され、応募作品の中から選ばれた山本教子、中村友美・上田仁美、大岩静江作品に、時間短縮をお願いして今日の上演が実現しました。上



中村友美・上田仁美モダンバレエ教室

も子供も、専門家も共に楽しめる高い水準の披露作品となりました。私も津田会長と共に、本番は観客の一人として拍手を送りながら、頭が下がりました。私が個人的に特に印象深く感じた事は、「MOMENT」作品では、モーニングで踊った男役の女性達、新風を感じるステップが、浮き上がってしまいうまくなく、しっかりとした構成の調和の中で、作品そのものに新鮮さを感じる様に仕上げられていた事。「まっすぐについて」作品は、何のてらいも無く、素直な子供らしさを、そのまま作品の芯に据えていた事が、観客の気持ちをほぐし、



大岩静江バレエスタジオ

第38回 バレエ モダンダンス フェスティバル

2005年3月5日・6日 川口リリアメインホール

埼玉・第38回「B・M・F」盛大に二日間に二十一日の力作を上演
舞踊評論家 寺村 敏

「伸びゆく彩の国さいたまの子供たちによる第38回バレエ・モダンダンス・フェスティバル」が二〇〇五年三月五日と六日に川口リリアメインホールで開催された。両日も第37回埼玉全国舞踊コンクール上位入賞者の披露に引き続き、五日に九団体、六日に十二団体の意欲作が上演された。

初日は山路瑠美子バレエ研究所『白のファンタジー』（構成・振付 黒澤明子・山本みさ）で幕を開けた。モーツァルトの曲を使って軽快で爽やかに踊る様子は「純白の春」を感じさせ、晴れやかなオーブニングとなった。少年二人が印象に残った。★中村友美・上田仁美モダンバレエ『碧風の海原』（演出 中村友美、構成・振付 上田仁美）も「春」を感じさせた。海を背景に白い少女たちが緩やかな流れとなり、海中の命が「登壇して」「生命」を印象づける。パステルカラーの衣装組の群舞が弾みで躍動的。観客に元気を与えた。★カヨ・イチカワ・ダンスタジオ『春の祭典・第一部・大地礼讃』（構成 市川華代）はストラヴィンスキーの曲を使った作品。群舞は「豊穣」という音楽のテーマより「命の胎動」を感じさせて知性あふれる構成がなかなか。「生命賛歌」として心ひとつ「力強さ」がほしい気がした。出演者全員で振付を担当という手法は試みとして興味深い。

「祭り」作品では、押しつけのアクションに陥る事なく、あくまでも、元氣よくステップを踏む子供たちの出入りの積み重ねで、見事に祭りを盛り上げて、さわやかな高まりで公演の最後を締めくくって下さった事等です。三作品共、舞台上で一人の落ちこぼれも出さずに、ゆきとどいた指導が成されてきた事で、作品を昇華する事が出来たと思います。今回の好企画を嬉しく思うと共に、助手の方々を含めた担当の皆様、心から感謝の気持ちを捧げたいと思います。又、来日海外審査員からも子供作品も楽しみました」と云うコメントを頂きましたので、スペースをお貸りして報告させていただきます。

のりレ」(構成・振付 藤井利子・高野尚美)は「金と銀」の明な旋律に乗せて少女たちの、早春の朝の風景を描く。スキップ、跳躍など時に軽快に時にゆったりと踊る様子はナチュラルですががしかった。★吉田久木子モダンバレエ研究所『明日へ』(構成・振付 吉田久木子)は「静・平穏」を感じさせる「白組」と「動・不安」を感じさせる「黒組」を対比させ「安らぎのある明日」への願いを込めた作品に仕上げた。★山中有子モダンバレエスタジオは二作品構成(構成・振付 山中有子、振付 福田晶子・秋山瑞歩)。前半『森の魔法祭』は黄色い満月の下で魔法たちがタンゴの旋律に乗って踊る様子が楽しい。後半『忍者』は、修行中で「忍び」はジャズ系の振付もあって軽快であった。共に軽妙な発想であった。

★深田・島村バレエスタジオ『コッペリア』より(構成・振付 島村三枝)は全幕から一幕を抜粋。ペレ・帽姿のフランツを登場させ「蝶を捕まえる」という寸劇を入れた後に「チャルダッシュ」と「マルカ」を見せる。ポーランドの民族衣装がお洒落で踊りは愛らしく明るかった。★川名今朝美モダンバレエスタジオ『大地の唄』(構成・振付 川名今朝美)が秀作である。まず「生命の息吹」を感じさせる少女たちが「不安」の黒組に「憂鬱」の「光」(少女二人が好演)が登場すると退散。森・木々に平和が戻るといふ展開。年長・年少組とも踊りは手堅く「自然・生命賛歌」となった。★窪内絹子モダンバレエ研究所『風と夢を運べ』(構成・振付 窪内絹子)は元氣一杯の群舞。音楽に触発されて振付けたのだろう。踊り手たちは曲に乗って力強く踊る。「手を床に片脚を高く掲げる」などの動きで全員が「夢遊搬人」とな

って初日を締めくくった。★二日目の開幕は和泉留留バレエスタジオの秀作『ハッピー・ホリデー』(構成・振付 和泉留留)。「誕生日を迎えた(少女)(小島楓)を進行役に、まず「友人たち」が生クリームをホイップする群舞を見せ、続いて「砂糖の糖」と「キャンディーの精」を登場させる。全員が溶け合って愛らしく、明るく夢いっぱいのおーピングになった。★山崎麻矢モダンバレエスタジオ『Wing 私達の旅』(構成・振付 山崎麻矢)は踊り手たちがふわふわりと舞う。鳥のように「風のように」という作者の感性が素敵である。★佐藤バレエ『パキータ』より(構成・振付 佐藤良美)はM・P・ティパレの恋愛劇から舞踏会で子供たちが踊る群舞を抜粋改訂した。橙黄色の衣装が明るく「整列行進」の後に「X型」「O型」などを形成する群舞が軽妙だった。

★藤井公・藤井利子・高野尚美舞踊研究所『朝

★寿美バレエスタジオ『レ・フティット・エトワール』(構成・振付 柄沢寿美)はスタジオのホープ・浅野結里香をプリンシパルに、三組に分けた二十五人の「エトワール候補生」たちが白いバレエを踊る。花冠を形成して清らかなであった。★マヤバレエスタジオ『バグス・ライフ』(構成・振付 原島マヤ)は光の輪の中に美少女二人(好演)が浮かび上がる場面が始

まると。草原を背景に果から出た二十四匹の蝶とトンボ、チョウ、テントウムシなどが「昆虫音頭」を踊り、ならず者やレビュースターも登場する多彩な「マヤ昆虫記」。楽しかった。★井上美代子バレエスタジオ『パインナップ・ポル』(構成・振付 井上美代子)はマーチの躍動感を爽快なバレエにした。踊り手を二色の衣装に分けて「春」を感じさせた。

★藤井香モダンダンス・スタジオ『こどものちから』(構成・振付 藤井香)は少女が背負う場面が始まり、幼子がお姉さんたちが作ったトンネルを抜けたら、お掃除のお手伝いをして「……子供たちの持つ「自主性」を伸ばし、賑やかに描く。「自然なダンス」という印象を受けた。★河上正子バレエ研究所『ラッパル・

★谷 乃梨絵モダンダンススタジオ『竹取幻想』(構成・振付 谷 乃梨絵)は「竹取物語」の舞踊化である。九人の「竹の精」が「生命」をテーマに力強く踊り、十人の貴人、八人の天上人も登場する。緑色の「蚊帳紗」の中から登場したのは何と大小八人のかぐや姫(輝夜姫)であった……。誕生から月への帰還までを短編構成した幻想的な異色作であった。

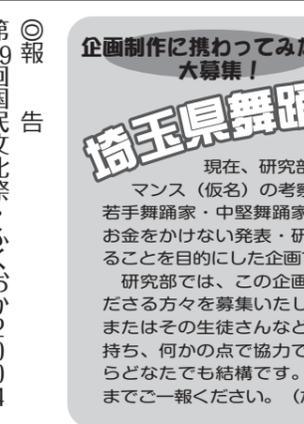
年齢を重ねも素敵に!! 小沢金四郎

あなたは素敵(すてき)ネと言われたことがありますか。人生には春・夏・秋・冬があるように思われます。春ののどかなときばかりではありません。特に他人の前で自分を表現する仕事の方は顔は名刺です。美人とかハンサムとか言うことではなく、生き方や考え方が顔に出てくるとも言います。当然年齢を重ねれば、今までなかった皺やしみなども目立ってきます。豊かな心、豊かな感性のある人はそれが顔に出てきますから魅力的になってきます。素敵ネと言われる人は他人には言わないでしょうが、仕事以外に内面を綺麗になることを忘れていません。知的であること、品の良さがあることがとても必要なことですから過ぎてゆく一日、一日の生活に時間の中で、少して結構ですから凡人にならないよう感性を大切にしてください。舞踊家であれば感性が豊かであることは解るはずですから、他人が気づかない一寸したことや機転をきかすことであなたの魅力が生まれてきます。それがお洒落をするとき他人と違っていることで、素敵に見えてくるものです。年齢は誰でも生きていくかぎりともので、自分を良く知ること、ファッションを上手に取り入れること、現代

◎お知らせ
平成17年度 第39回埼玉舞踊協会
総会 2005年6月26日(日) 開催
別紙にてお知らせいたします、ご予定下さい。
◎編集後記
埼玉県舞踊協会の事務局を、開設、すこぶつ新しい企画にも、役員みんなで挑戦しております。
協会の先生方より、事務所への備品、協力をいただきました事、この紙面を借りて、報告させていただきます。
ありがとうございました。

◎報告
第19回国民文化祭・ふくおか2004
「洋舞祭・Ballet & Modernance」
バレエ・モダンダンス
平成16年11月7日
九州厚生年金会館
「交流の舞」に埼玉
舞踊協会が参加
しました。
この報告記事は次号に掲載させていただきます。

企画制作に携わってみたい方
大募集!
埼玉県舞踊協会研究部からのお知らせ
現在、研究部では「ミニパフォーマンス(仮名)の考察」を行っております。若手舞踊家・中堅舞踊家・グループなどに、お金をかけない発表・研究・実験の場を与えることを目的とした企画です。研究部では、この企画・製作に携わってくださる方を募集いたします。協会の先生方、またはその生徒さんなど、この企画に興味を持ち、何かの点で協力できると思われる方ならどなたでも結構です。ぜひ、研究部担当者までご一報ください。(ただし、この活動には、日当等は出ません。全てボランティアとなりませう。)面白いアイデア、パフォーマンスの名称案などございましたら、あわせてご連絡ください。
連絡先/研究部担当理事 佐多達枝
TEL 03-3368-4385
FAX 03-3368-4386
運営理事 藤井香
TEL・FAX 048-866-7366
E-mail: kaori-fj@isis.ocn.ne.jp



撮影/塚田 洋一